



# 消防大学校だより

## ■ 新任消防長・学校長科における教育訓練

消防大学校では、消防業務の従事経験が少ない一般行政職出身の新任消防長及び消防学校長が、その職に求められる能力を総合的に修得することを目的とする「新任消防長・学校長科」を設置しています。令和8年度の「新任消防長・学校長科（第36期）」では、5月11日（月）～5月21日（木）の11日間に及ぶ全寮制での集合研修を実施し、43名が修了しました。

研修では、大沢消防庁長官による講話をはじめ、全国消防長会の市川会長および消防庁幹部による最新の消防行政の動向に関する講義のほか、一般行政職出身で同様の職務経験を有する明石市政策局広報プロモーション室の上田部長（前明石市消防局長）、宮城県消防学校の大内学校長を講師として招きました。また、石川県消防学校の平岡学校長（前奥能登広域圏事務組合消防本部消防長）、前熱海市消防本部消防長の植田氏を講師に招き、消防行政をけん引するリーダーとしての対応や大規模自然災害（震災と土石流）の指揮活動等の経験談をお話いただきました。さらに、人材確保や財源創出、人材育成やハラスメント対策など消防行政が抱える多くの課題に対する討議（プレゼンテーション）、消防職員の基本動作である消防訓練礼式の習得など、数多くのカリキュラムを受講し、消防組織のトップとしての職責を再認識するとともに、リーダーとしての心構えについて学び、資質の向上を図りました。

他方、「実科」として、実火災体験型訓練（危険物火災）を通して危険と隣り合わせの消防職員の現場活動の実態を模擬的ながら体感することで、安全管理の重要性を認識しました。また、大規模地震時における常備消防と消防団との連携を想定した「指揮シミュレーション訓練」により、消防団との連携の重要性について理解を深めるとともに、指揮者の迅速で正確な状況把握や決断の難しさを実感しました。

さらに、「危機管理広報」では、組織内で不祥事等が発生したとの想定で報道対応シミュレーション（実演訓練）を行い、適切かつ的確な情報発信能力の向上を図り



訓練礼式



実火災体験型訓練（危険物火災）



指揮シミュレーション訓練



危機管理広報

ました。

研修を終えた学生からは、「消防行政の最新動向や人材育成の具体的な取組について多くを学ぶとともに、大規模災害を想定した指揮シミュレーションでは初めての経験を通じ、全ての過程が大きな学びとなった。」「救急需要や災害リスクの増大に加え、人材不足が深刻化する中、持続可能な消防体制を維持するためには、広域連携やDX推進、業務の効率化など従来にとらわれない柔軟な対応が不可欠であることを学んだ。」「教官や他の学生

との交流が有意義であり、共通の課題に取り組む仲間の努力を知ること、励ましと多くの示唆を得ることができた。」など、学生相互の交流を含め、教育科目全般が有益であったとの評価が多数寄せられました。

修了した受講生が今後、一般行政職員の幹部として長年培ってきた経験・知見に、本学科で習得した知識と技術を融合させ、地域住民が安心して暮らせる災害に強い安全なまちづくりの実現に向け、大いに活躍されることを期待いたします。

## 令和8年度 消防大学校 客員教授について

消防大学校では、消防に関し特に優れた知識及び経験を有する方に対し、客員教授の称号を授与し、消防大学校における教育等に対してご協力をいただいています。

このうち下表の方々については、消防学校及び消防本部における教育訓練の講師としても御協力いただけるこ

とになっておりますので、教育訓練等の講師選定の参考としてご紹介いたします。

内容や日程等の客員教授との調整及び旅費・謝金の負担は依頼元となりますので、あらかじめご了承ください。

専門分野・講義実績等	氏名	所属・職名
教育技法	山崎 洋史	元仙台白百合女子大学教授
組織管理	新井 雄治	元東京消防庁消防総監
予防法令運用	荒井 伸幸	元東京消防庁理事兼総務部長
地域防災	瀧本 浩一	山口大学大学院創成科学研究科准教授
惨事ストレス対策	松井 豊	元筑波大学名誉教授
危機管理	鈴木 洋	元横浜市消防局長
人事管理 (アンガーマネジメント、コミュニケーション、情報共有トレーニング)	斎藤 栄次	元鹿児島市消防局長
人事管理 (ハラスメント対策、人材育成方策)	上田 伸次郎	元東京消防庁人事部長
消防広域化、防災・危機管理	長谷川 彰一	元消防庁次長、内閣府審議官 (防災)

※客員教授の連絡先については、消防大学校担当者までお問い合わせください。

### 問合せ先

消防大学校教務部  
TEL:0422-46-1712